

比較動物医学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yamanaka H, Kadomatsu R, Takagi T, Ohsawa M, Yamamoto N, Kubo N, Takemoto T, Ohsawa K: Antimicrobial Resistance Profiles of Vancomycin-resistant Enterococcus Species Isolated from Laboratory Mice. Journal of Veterinary Science, 20(3), e13, 2019 (IF: 1.503)

A-e

1. Yamanaka H, Masuyama R, Ohsawa K: *Helicobacter japonicus* infection contributes the development of potent mucosal barrier systems. The 92nd Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology, 2019

B 邦文

B-a

1. 大沢牧子, 横山いずみ, 尾上知佳子, 久保憲昭, 大沢一貴: マウスノロウイルス抗体検出用乾燥組換え抗原 ELISA プレートの評価, 九州実験動物雑誌, 35, 39-44, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	1	0	4

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大沢一貴・教授	実験動物感染症対策委員会副委員長, 評議員	日本実験動物学会
大沢一貴・教授	評議委員	日本獣医学会
大沢一貴・教授	編集委員会委員	日本バイオセーフティ学会
大沢一貴・教授	実験動物法規等検討委員会副委員長	日本実験動物医学会
大沢一貴・教授	バイオセーフティー委員会委員	国立大学法人動物実験施設協議会
大沢一貴・教授	理事、学術集会委員会委員長、情報管理委員会委員	九州実験動物研究会
大沢一貴・教授	顧問	日本実験動物技術者協会九州支部
大沢一貴・教授	専門委員	日本学術振興会
大沢一貴・教授	運営委員	実験動物微生物統御若手の会
大沢一貴・教授	実行委員会委員長	第66回日本実験動物学会総会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
大沢一貴・教授	日本学術振興会	分担	粘膜バリア障害誘導による有鞭毛菌を主体とした潰瘍性大腸炎発症メカニズムの解明
坂根千春・助教	日本学術振興会	代表	骨芽細胞成熟過程における Runx2 の Tln2 を介した突起形成制御機能の解明

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
大沢一貴・教授	非常勤講師(実験動物学)	九州医学技術専門学校

大沢一貴・教授	非常勤講師 (感染と予防)	長崎市医師会看護専門学校
---------	---------------	--------------